

第2期 安茂里地区まちづくり計画 (平成28年～平成32年)



長野百景に選ばれた裾花川堤防のしだれ桜

目 次

◇笑顔のまちづくり推進 （地区住民自治協議会会長あいさつ）	…	2
◇計画の概要	…	3
◇第1期まちづくり計画の取り組み （写真で5年間の主な事業を振り返る）	…	4 5
◇第2期まちづくり計画		
支え合う・助け合う	…	6
手を携え・守る	…	7
交わる・つどう	…	8 9
伝える・参加する	…	10
住自協の取り組み	…	11

笑顔のまちづくり推進 さらに5年の計画

笑顔で心豊かに暮らせるまち—安茂里のみんなが願い、思い描いている日々です。近年の安茂里地区自体は大きな災害はなく、著しい変化はなかった、と言えますが、我が国全体の課題である「少子高齢化」の波は確実に進んでいます。こうした状況の中で安茂里地区住民自治協議会は平成27年度まで5年間の「まちづくり計画」（地域福祉計画）を策定し取り組んできました。

平成28年度からは第2次5か年計画のスタートの年に当たり、27年夏から、役員会、区長連絡会及び全部会員と計画の見直しを行ってきました。第1次計画については多くの事業が実施され今後も継続される事業が多くあります。第2次計画では、新たに高齢者やいろいろな障害を持つ人、子育てなど地域福祉の充実が望まれています。安全安心な環境を整え、教育や文化活動などにも取り組むことが求められています。歴史のあるスポーツの祭典、アモーレフェスタ、福祉バザーの安茂里3大イベントを軸に、高齢者から子供たちまでの世代間交流を進めること、公民館活動、ボランティア活動をさらに活発にしていくことなど、多くの事業を推進していきます。

いずれも5年間で成し遂げられることではありませんが、安茂里のまちづくりの指針として、着実な実現を目指します。安茂里地区2万2千人余の力を合わせていただくことで、住みよいまちが実現していくことを願うものです。

平成28年7月

安茂里地区住民自治協議会会長 林 正夫

計画の概要

1. 23年に策定の第1次5か年計画を継続

安茂里地区住民自治協議会は平成23年4月、27年度まで5年間の「まちづくり計画」（地域福祉計画）を策定し、取り組んできました。

計画策定に当たっては20年8月に策定委員会を発足させ、各層の代表からなるプロジェクトチームを立ち上げています。住民アンケートも行うなど、2年あまり検討を重ねた広範な安茂里の人々の声を反映した内容です。

第2次計画は、健康福祉、教育文化、健全育成、環境、安全の各専門部会と区長で構成する総務部会が、これまでの事業を再点検し、検討しました。

第1次計画の継続すべき事業はさらに充実を目指します。新たな事業は多くはありませんが、限られた収入を工夫し、介護保険法の改正など新たな課題に対応していきます。

第2次計画は目標、事業についてできるだけ簡略に記述しました。

2. 計画の基本

安茂里地区の平成32年までの「まちづくり」の指針となる5か年の計画です。平成23年策定の「地域福祉計画」を副題とした第1次計画の「支えあう・助け合う」「手を携え・守る」「交わる・つどう」「伝える・参加する」の4つの目標を引き継ぎ、新たに「住自協の取り組み」を加えました。

住民自治協議会は、行政のような財源・組織・権限を持ちませんが、行政では手が届かない地域の課題に取り組める身近な存在です。安心安全であり、楽しみがあり幸せを感じる、愛着の持てるわが故郷である安茂里を目標に、住民の皆さんと力を合わせて実現を目指します。

3. 計画の期間

平成28年4月～平成32年3月 5年間

4. 安茂里の現状

平成28年4月1日現在の安茂里地区は9,174世帯数、人口は21,788人(男10,459人、女11,329人)。国内の少子化による人口減少は平成23年ころからはじまっており、安茂里では人口ピークの平成9年10月には23,783人でしたので、徐々に人口減少は進んでいます。

一方、高齢化は着実に進行しており、高齢者が安心して暮らせる地域づくりと、子どもを産みやすく育てやすい環境整備は、ますます重要になってきます。

安茂里地区30年間の年齢構成の変化

年	人口	0-14歳	15-64歳	65歳超
昭和60年 (1985年)	21,650人	23.20%	68.70%	8.10%
平成7年 (1995年)	23,556人	17.6	69.2	13.2
平成17年 (2005年)	23,066人	15.6	65.2	20.2
平成27年 (2015年)	21,924人	13.5	59.1	27.4

(各年10月1日現在)

かつては杏の里と言われ農業が盛んでしたが、1940年代から宅地化が進み、新しい団地が次々に造成されました。市中心部に近く、JR安茂里駅ができるなど、交通の便もいいことからすっかり住宅地に様変わりしました。

しかし、山寄りの地域では、急坂もあり、高齢者にとっては、買い物、通院などの交通手段に悩みが出てきています。

第1期まちづくり計画の取り組み（平成23年～平成27年）

～ 写真で5年間の主な事業を振り返る ～



住民自治協議会総会



春の河川清掃（環境部会）



スポーツの祭典



ドッジボール大会（健全育成部会）



区長研修旅行（総理官邸にて）

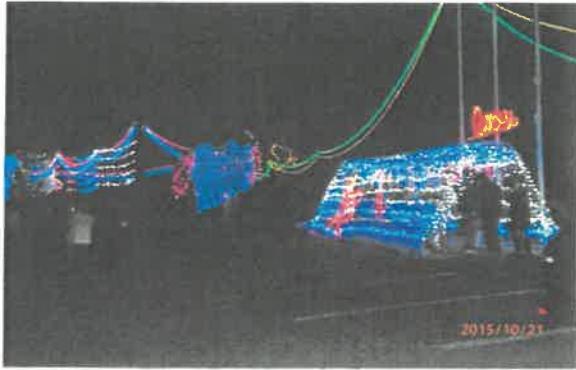


うたごえ喫茶（健康福祉部会）



アモーレフェスタ





安茂里総合市民センターでのイルミネーション



福祉バザー



ノルディックウォーキング講習会(健康福祉部会)



成人式(平成28年1月)



信更地区との交流(マレットゴルフ遠征)



福祉関係団体合同研修会での
避難所運営ゲーム



第五地区合同「国道19号歩道設置勉強会」開催
(信州新町旧期成同盟会事務局員を招き)



白線引き(安全部会)

支えあう・助け合う

<p>目標</p>	<p>身近な地域で自然な気持ちで支え合うことができる地域づくりを目指します。また、不安や地域の困りごとなどを気楽に相談できるような窓口を明確にし、一人で抱え込まない（孤立防止の）地域づくりを進めていきます。</p>	
1	<p>生活支援・介護予防サービスの整備</p>	<p>介護保険制度の改正に伴い、生活支援・介護予防の担い手の養成、ネットワーク化が地域に求められています。地域のニーズとマッチングしたサービスを各機関と連携して進めます</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ○総務部会</p>
2	<p>よろず相談窓口の設置</p>	<p>身近な相談役として地域福祉ワーカーが住民の悩みや相談を受け止め、専門機関につなげたり、ボランティアの育成・支援や活動に関する相談調整を行います</p> <p>地域福祉ワーカーは平成24年4月から安茂里地区ボランティアセンターに勤務しています</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会</p>
3	<p>災害時の要援護者支援</p>	<p>一人暮らしの高齢者、高齢者だけの世帯や障害者など、災害時に避難等の支援が必要な災害弱者を把握し、避難支援を行う人の選定や避難場所を周知するなどの体制を整えます</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ○総務部会、安全部会</p>
4	<p>声かけ見守り活動</p>	<p>一人暮らしの高齢者など、日常的な見守りが必要な方を対象に訪問活動を行います。民生児童委員、地元自治会と連携して取り組みます</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ○総務部会、安全部会</p>
5	<p>地域助け合い事業（福祉移送サービス）</p>	<p>歩行が困難で公共交通機関の利用が困難な方を対象に福祉車両「ふれあい号」を使用して、登録した住民の協力会員が通院などの送迎を行います。有償の支え合い活動です</p> <p style="text-align: right;">地域助け合いコーディネーター（電話224-2100）が対応</p>
6	<p>地域助け合い事業（家事援助サービス）</p>	<p>日常の家事で困ったことがある場合に登録した住民による協力会員が家事援助します。有償の事業です</p> <p style="text-align: right;">地域助け合いコーディネーター（電話224-2100）が対応</p>
7	<p>健康づくり講座</p>	<p>西部保健センターと共催し年度ごとに主要テーマを決めて開催する健康づくりの各種講座です。運動講習会などを行います</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会</p>
8	<p>介護者のつどい</p>	<p>在宅で介護している方（介護者）を対象に同じ立場にある人々との交流や悩み事・健康相談などを通じて介護の不安感などを解消、和らげる取り組みです。民生児童委員協議会と連携し開催</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会</p>
9	<p>点訳サービス事業</p>	<p>地区内の視覚障害者を把握し生活に必要な地域情報を点字訳し提供することで安心して生活できるよう支援します</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ボランティアグループ「花水木の会」と連携</p>
10	<p>子どもの見守り活動の推進</p>	<p>生徒・児童の登下校時に犯罪、事故に巻き込まれるのを防ぐため学校、PTAを中心とした「安全見守り隊」などを組織、パトロールなど見守り態勢を充実し細心の注意を払って実施します</p> <p style="text-align: right;">◎健全育成部会 ○安全部会</p>

◎は主管部会 ○は連携部会

手を携え・守る

目標		安全安心で住みよいまちづくりは、安茂里に住む私たち皆の願いです。交通事故や災害に遭わない日々の暮らしを支えるために、行政の施策に期待する一方で住民が連携して環境を守り、整備していくことを求められます。
1	道路、河川など地区の環境整備と土木事業の実施要望	<p>国道19号の歩道整備を第5地区住自協と協力して関係機関に要望し推進、相生橋架け替え、市道差出岸北線など都市計画道路の早期完成、河川改修を含む環境整備を働きかけます。各行政区内の道路、安全施設の維持・管理と必要な改修・整備を要望し、地元として現地調査に立会いなど協力していきます</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○各行政区</p>
2	防犯灯・交通安全施設などの設置推進	<p>各区が防犯灯、交通標識などの設置・改修について必要か所を取りまとめ、行政に要望します。また、維持管理を行います</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○安全部会</p>
3	アメリカシロヒトリから緑を守る活動	<p>樹木に甚大な被害を与えるアメリカシロヒトリの発生、被害を防ぐため区単位で寺社・公園などの樹木で駆除活動を行います</p> <p style="text-align: right;">◎環境部会</p>
4	ゴミ集積所の設置補助、分別啓発	<p>ゴミ集積所の設置と改修にあたって市及び住民自治協議会から、それぞれゴミ集積所整備補助金を支給されますので、整備を促進します。また、ゴミ出しの際の分別について啓発活動を行います</p> <p style="text-align: right;">◎環境部会</p>
5	地域安全活動の推進	<p>犯罪や交通事故、火災などを防止するため、各種の訓練や教室で住民の意識を高めます。消防局安茂里分署、消防安茂里分団、交通安全協会支部、防犯協会支部、防犯指導員、防災指導員との連携を強め、活動します</p> <p>また、高齢者が行方不明になった場合などは不明者の早期発見に協力します</p> <p style="text-align: right;">◎安全部会 ○総務部会</p>
6	防災対策の推進	<p>安茂里地区は犀川、裾花川があり、土砂災害の恐れのある沢筋があります。消防局安茂里分署、消防安茂里分団、防災指導員の協力で災害対策を進め、災害時は平成26年に全戸配布した「安茂里防災マップ」を活用し迅速に避難できる体制を整備します</p> <p>また、防災指導員が地区として連携し組織的な活動ができるよう支援していきます</p> <p style="text-align: right;">◎安全部会 ○総務部会</p>
7	道路凍結防止剤の散布	<p>路面の凍結により発生する事故やけが防止のため、凍結する個所に市から支給される凍結防止剤を散布、通行の安全を図ります</p> <p style="text-align: right;">◎安全部会</p>
8	庭木など通行支障木の整枝と指導	<p>通行の支障になったり視界を妨げる樹木について、所有者に剪定を依頼、また指導して交通事故防止に努めます</p> <p style="text-align: right;">◎安全部会 ○総務部会</p>
9	道路路面標示の白線塗布	<p>春の入学シーズンを前に各区ごとに市道交差点などの停止線に白線を塗り直し運転者、歩行者に注意喚起します</p> <p style="text-align: right;">◎安全部会 ○健全育成部会 ○総務部会</p>

交わる・つどう

目標	日常のあいさつを基本とし身近な地域及び安茂里地区全体の交流を通じた住民のつながりを大切にします。安茂里に愛着を持てる交流の機会や場づくりを推進していきます。	
1	安茂里公民館・地域公民館の連携、活動の充実	<p>市立安茂里公民館の運営に積極的に関わり、行政区とともに地域公民館との連携をさらに強化して活動を活性化していきます。生涯学習の拠点、世代間交流の場として安茂里の文化・芸術・教育活動の充実を支援し、福祉活動啓発の役割も担います</p> <p style="text-align: right;">◎教育文化部会 ○総務部会</p>
2	他地区住民との交流	<p>住自協間交流は28年度、信更、小田切、松代と計画・実施されています。スポーツや祭り、伝統行事などイベントを通して交流しています。子供たちの参加で幅を広げ互いの理解を深めます</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○教育文化部会 ○健全育成部会</p>
3	アモーレフェスタ	<p>園児・児童生徒・大人の音楽演奏や芸能発表、長野工業高校生の研究や高齢者、文化活動サークルの作品など多彩な活動の発表の場です。</p> <p>消防安茂里分署、警察署など住自協関係団体も参加、地区住民が一堂に会して交流し楽しむ秋の催しです。交流のある住自協も太鼓演奏、特産物販売などで参加します</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○全部会と住自協構成団体</p>
4	福祉バザー	<p>地区住民や協賛企業から、善意の物品を提供いただき、総合市民センターを会場に安価で販売しその収益は、地域の福祉活動（寝たきり、認知症の方がいる世帯、生活保護世帯への歳末慰問金、児童センター、福祉自動車「ふれあい号」運営費など）に充当します。</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ○全部会と住自協構成団体</p>
5	スポーツの祭典	<p>スポーツを通じて交流、健康づくりにつなげる春のイベント。野球、マレットゴルフ、ママさんバレーなど多彩な競技を各区対抗戦を含め実施します。底辺拡大へ初心者向け教室もあり、他地区住自協からも参加します</p> <p>子どもたち、高齢者の参加を増やし世代間交流を図ります</p> <p style="text-align: right;">◎教育文化部会 ○全部会協力</p>
6	成人祝賀式の開催	<p>成人の門出をお祝いし、社会や地域を支える一員としての自覚を促す晴れの日とします。故郷安茂里への思い、友情を深める機会にもなっています</p> <p style="text-align: right;">◎教育文化部会 ○安茂里公民館共催</p>
7	趣味や伝統行事での交流	<p>各地区単位で様々な方が参加し交流できる趣味活用型の交流事業を進めます。地域の伝統行事も保存、継承に努め、重要な触れ合いの場として位置づけます</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会</p>
9	文化芸術の振興	<p>地区内の文化活動を育てていくために関係団体との連携による発表のための大会、祭典等に協力します。文化芸術団体、安茂里甚句保存会などの活動が注目されます</p> <p style="text-align: right;">◎教育文化部会</p>

交わる・つどう

10	囲碁・将棋大会の開催	知識競技である囲碁・将棋を愛好する人が年代を超えて交流、友好を深める。若い世代への普及も目標 ◎教育文化部
11	イルミネーションの点灯	安茂里総合市民センターの前庭を年末、イルミネーションで飾ります。裾花中学校、長野工業高校の生徒がデザインの構築や設置及び撤去に協力し、新たな憩い・交流の場になっています ◎総務部
12	さわやかあいさつ運動	子どもだけでなく、大人同士も自然にあいさつができるよう、また、お互いが知り合いの住民として意識しあえるよう、運動を継続、展開します ◎健全育成部会
13	子ども育成活動の実施	地区内の子ども同士の交流を深め、地域の大人や年齢の異なる子どものふれあいの機会として送迎会、夏祭り、しめ縄作りなど、育成会と地域公民館が主催して行事を開催します ◎健全育成部会 ○教育文化部会
14	青少年健全育成の集い	地域と学校、家庭が連携し、より良い社会環境を作るために青少年健全育成の集いを開催します。小中学校児童生徒、高校生による事例発表や講演があります ◎健全育成部会
15	学校と地域の協力	小中学校のコミュニティスクールに協力し、教職員と住自協役員が地域で子供を育てる態勢づくりについて意見交換し、具体的な取り組みを推進します ◎健全育成部会 ○総務部
16	安茂里美化活動	ゴミ拾いや河川清掃などの活動、環境パトロール実施により、住民の環境美化意識を高める。クリーンな安茂里の環境保持に努めます ◎環境部会
17	お茶のみサロン	高齢者の交流の場として地区ごとに健康福祉部会員が中心になって開催しています。幅広い世代がつどい、交流することにつながりを強めます。担い手の育成や研修会、情報交換会も行っています ◎健康福祉部会
18	うたごえ喫茶の開催	歌手や演奏家を招きお茶を飲みながら音楽を聴き、歌ったりすることで、世代を問わない参加型交流事業として開催します ◎健康福祉部会
19	手づくりコンサートの開催	「住民がつくる音楽会」として演奏会や鑑賞会を開催する。安茂里の文化活動を発信する機会とします ◎教育文化部会

伝える・参加する

目標	<p>分かりやく親切な生活情報を伝えることで、自治活動に理解を深め、興味を持っていただくことが大切です。このことが多様な形で活動に参加するきっかけになり、まちづくりの担い手となってくれることにつながります。連携を密にする情報発信、学びの場づくりを目指します。</p>	
1	<p>広報紙の発行</p>	<p>住自協の活動を中心に安茂里のまちづくり情報（事業報告、計画、お知らせ）を掲載する「ふれ愛あもり」を定期的に発行します。部会ごとに選出される委員による広報委員会で情報収集、編集し、親しまれる広報紙とします</p> <p>発行回数などは編集委員会で検討し充実を図るとともに、公民館報や各種お知らせとの連携も検討課題です</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○全部会と関係団体</p>
2	<p>ホームページでの発信</p>	<p>まちづくり情報はホームページでも発信します。広報紙では紙幅の関係で掲載できない詳細な内容をお伝えできます</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会</p>
3	<p>地域活動情報の充実</p>	<p>地区の活動に携わる各団体と連携し、必要な情報を広報紙やホームページ、回覧などを活用して伝えます。住自協だけでなく、多くの団体が多彩な活動に取り組んでいますので、一元化した受発信を目指します</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会</p>
4	<p>市との意見交換、懇談</p>	<p>「生き生き安茂里みんなでトーク」「みどりの移動市長室」といった市幹部と直接、安茂里の課題などを話し合う機会があります。地域の要望を伝え、市の考え方、対応を知る機会です。こうした場を活用、課題・要望の具体化を目指します</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○全部会と住民</p>
5	<p>まちづくり勉強会</p>	<p>市や国の新たな施策展開について、地域の課題についてなどを学び知る機会として「出前講座」や懇談会開催を求めています。市幹部や有識者の考えをうかがいます</p> <p style="text-align: right;">◎住自協構成団体</p>
6	<p>一芸ボランティア</p>	<p>高齢・一人暮らしの人が増えた一方で子育て・見守りなど、地域では「声」にならない多くの「お手伝い活動」の要望が潜在しています。ボランティア活動は盛んになっていますが、まだ十分とは言えません</p> <p>住自協と安茂里ボランティアセンターは「一芸ボランティア」への協力を呼び掛けています。特技や知識、経験、音楽やマジックの趣味など「お得意」を登録いただき、小中学校や地域の集いなどで生かす活動です。ご登録ください</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ○総務部会</p>
7	<p>ボランティア情報発信・研修</p>	<p>ボランティア活動についての情報を発信、未経験者から専門性の高いものまで、さまざまなボランティア講座・研修の場づくりを進めます</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会 ○ボランティアセンター</p>
8	<p>安茂里の里文化講演会</p>	<p>専門的な知識を持った方を招き毎年秋に開催する教養講座です。広いジャンルの中から選んだ専門家による分かりやすい話をお聴きしています</p> <p style="text-align: right;">◎教育文化部会</p>

伝える・参加する

9	募金活動	<p>日本赤十字社の社資、赤い羽根共同募金、緑の募金など福祉関係の各種募金について周知し、各区ごとに住民の協力をいただいて実施します</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会 ○地区全体</p>
10	献血事業の啓発と協力	<p>少子高齢化社会では、より幅広い年齢層の方の献血への理解と協力が必要になっています。アモーレフェスタで献血をお願いするなど協力と周知に取り組みます</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会</p>
11	環境啓発活動	<p>クリーンな安茂里を守るために不法投棄防止、犬の糞の始末、ゴミの分別など守るべき生活ルールについて「まちなか掲示板」等を活用しながら啓発活動を進めます</p> <p style="text-align: right;">◎環境部会</p>
12	人権教育研修会の地区開催	<p>人権を守る意識を高めることが重要です。地域で学ぶ機会として地区公民館主催の研修会を開催、啓発に取り組みます</p> <p style="text-align: right;">◎教育文化部会</p>
13	研修会開催と参加	<p>地域の役員活動の際に必要な事柄を知り、確認するために専門的な研修の機会を設け、充実した活動ができるよう支援します</p> <p>福祉推進員研修会、福祉関係団体合同研修会、市主催の青少年健全育成情報交換会などに参加し、学んだことを各部会で伝え構成メンバーの意識を高めていきます</p> <p style="text-align: right;">◎全部会 ○住自協構成団体</p>

住自協の取り組み

1	区長連絡会	<p>安茂里18区の区長による月例会議で市からの必須事務などを伝え、連絡調整。安茂里全体の活動に関する事業を審議、決定します</p>
2	関係団体との連絡調整	<p>住自協構成団体（民生児童委員協議会、白バラ会など）や教育機関、警察・消防等との協力を深め、連絡調整にあたります</p> <p style="text-align: right;">◎総務部会</p>
3	福祉活動のネットワーク	<p>地域福祉にかかわる民生児童委員協議会や社会福祉協議会など団体、関係機関と連携を深め活動を強化します。</p> <p style="text-align: right;">◎健康福祉部会</p>
4	活動助成	<p>住自協は児童育成や弱者見守りなどの福祉団体・機関の活動に補助をしています。額に限度はありますが、文化活動、環境整備活動にも助成、支援しています</p>

平成28年7月1日発行
安茂里地区住民自治協議会

